

## —小学四年生の部—

今井千鶴子 選

### 【最優秀賞】

秋がきた葉っぱが照れてるみたいだね

小四 谷口葉月

(評) 秋になると葉っぱは紅葉(こうじよう)して赤や黄色に染まりますね。とてもきれいでしよう。香港でも紅葉するのかな。それとも日本にいたときの思い出かしら。葉月ちゃんは、葉っぱが照れて赤くなったみたいと思ったんでしょう。自分の感じたことを詠んでいるところが良いのです。又感じたままを作ってくださいね。

### 【優秀賞】

雪だるま太陽出ないでとけるから

同 星野航輝

(評) いばって立っている雪だるまさん。でも太陽が出て照らされると汗か涙かたらたらと流れて、そのうちにバケツの帽子がはずれたり、炭のお口が曲がったりしてとけちゃうんですね。せっかく作ったのに航輝君はそれじゃあ残念なんだ。お日様今日一日は出ないでね。

桜さき私の心に未来さき

同 井出歩実

(評) 歩実さんはちょっとおませさんですね。小四でもうこんなむつかしい句をつくるんですね。大人みたいですよ。〈私の心に未来さき〉なんて大人より上手です。桜がきれいだったからこうい言葉が出て来たんだと思うのだけど、こういう作り方をしていると行き詰まってしまうことがあります。もっと見たままの句も作ってね。

あまのがわ天国からのおくりもの

同 勅使河原彩織

(評) 天の川がともきれいなので、あれは天国からの神様のおくりもののような気がした彩織ちゃん。きれいなものに感動する気持ちは大事にしてください。あの星の一つ一つが地球より大きいらしいし、その光が地球に届くまですごい時間がかかるんだそうですよ。やっぱり天国からのおくりものですね

